

	<h1>志木三小だより</h1> <p>学校教育目標 賢く 優しく 逞しく</p>	志木市立志木第三小学校
		平成30年度 第8号
		平成30年11月1日
		志木市柏町3丁目2番1号
		TEL 048 - 471 - 1062
		児童数11月1日現在583名



44歳 おめでとう！

校長 可知 良之

11月は本校にとって特別な月です。11月15日は本校の開校記念日、今年で創立44周年となりました。2学期の途中で不思議に思われるでしょう。実は本校の開校に当たっては多くの苦難とドラマがありました。開校記念日はそのことを物語っています。今、本校があるこの地は、もともと志木中学校があった所でした。開校の2年前、昭和48年には写真のように校舎がぎっしり密集していました。当時志木中学校は市内唯一の中学校であったため、遠くから通ってくる生徒が多く、新しい学校を作る必要がありました。そこで、昭和48年には志木第二中学校を開校しました。しかし、校舎の竣工が4月に間に合わず1学期中の4ヶ月間は、志木中学校との同居生活でした。私は、開校初年度の1年生でしたので当時のことはよく覚えています。写真下の木造校舎部分が志木二中生の仮校舎で、前庭や裏庭には池や花壇がゆったり配置され田舎ののどかな学校の雰囲気がありました。それから1年後の昭和49年にはマンモス化した志木小学校と志木第二小学校の学区を分割して新しく志木地区に小学校を新設することを決めました。ところが、新たな小学校を建てるだけのまとまった用地が見つかりませんでした。やむなく志木中学校の敷地内に作るということになりました。しかし、ここでも問題が起きました。志木中学校は地形上、台地の上と下に敷地が分かれていて、どちらからを小学校が使えるようするしかありません。小学校を台地の下部分に建てれば済みそうです

が、そうすると中学校の敷地面積が狭くなり、文部省が定める基準を満たさなくなってしまう。そこで、中学校の校舎をそのまま利用するという前代未聞の方法で三小は開校することとなりました。中学校の新校舎が3月の完成をめざして急ピッチで進められ、同時に中学校として使っていた教室を小学生が使えるように整えました。トイレや黒板などは小学生が使うには高すぎるため踏み台を置くなどしたといえます。このような状態で4月には中学生が新校舎へ移り、志木第三小学校は開校しました。開校後も工事は続きました。木造校舎を取り壊し、鉄筋3階建ての特別教室棟を移動しグラウンドを整備しました。こうした全ての工事が終了したのが11月15日だったそうです。毎年、開校記念日には開校にまつわる講話を行っています。今年は、学校運営協議会委員の飯田昌利さんにお話を伺う予定です。子供たちには母校への想いを膨らませてほしいと願ってやみません。

